

HART 90

HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

兵庫県立美術館

ベルギー Fantastic Art in Belgium 奇想の系譜展

ボスからマグリット、ヤン・ファールブルまで

2017 5.20±-7.9日

15世紀から現代に続くベルギーの奇想の芸術。奇怪な生き物に満ちた幻想的な絵で知られている初期フランドル派の画家ヒエロニムス・ボスの遺伝子は脈々と受け継がれ、ブリューゲルやマグリット、ヤン・ファールブルらによって獨創性あふれる表現が次々に生まれてきました。地獄の世界や死のイメージといった教訓を含んだテーマが、時には恐ろしく、また時にはユーモアたっぷりに表された約120点の絵画・版画・彫刻などをお楽しみください。



ヒエロニムス・ボス工房《トウスグダルの幻視》1490-1500年頃 ラサロ・ガルティアーノ財団蔵 ©Fundación Lázaro Galdiano

観覧料 一般1,500(1,300)円、大学生1,100(900)円、70歳以上750(650)円、高校生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体割引料金

*障がいのある方(70歳以上を除く)は各当日料金の半額、その介護の方1名は無料

関連イベント

■記念講演会1 「ブリューゲル絵画の秘密ーその発想源をめぐって」
講師：森 洋子氏（明治大学名誉教授）
6月4日（日）

■記念講演会2 「奇想のイメージーマグリットとシュルレアリスム」
講師：速水 豊氏（三重県立美術館館長）
6月18日（日）

両日とも、14:00～（約90分）ミュージアムホールにて（定員250名）
聴講無料（要観覧券・当日10:00～ホワイエで整理券配布）

■学芸員による解説会

6月17日（土）

「第2章 19ー20世紀のベルギー象徴派・表現主義」

7月1日（土）

「第3章 20世紀のシュルレアリスムから現代まで」

両日とも、16:00～（約45分）

レクチャールームにて（定員100名）聴講無料

■KEN-Vi名画サロン特別上映 「ブリューゲルの動く絵」

6月10日（土）

※詳しい情報は中面の「イベント」欄をご覧ください。

■おやお解説会

「ちょっと怖くて なんだか楽しい 不思議な話」 6月3日（土）

■こどものイベント

「わたしの幻想世界」 6月24日（土）

※詳しい情報は巻末の「こどものイベント」欄をご覧ください。

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～（約15分）

レクチャールームにて（定員100名）聴講無料

Fear in Painting 怖い絵展

2017年 7月22日（土）- 9月18日（月・祝）

中野京子氏のベストセラー『怖い絵』に想を得た本展は、主に近代のヨーロッパ絵画から「怖い」絵を選び出し、神話・現実・歴史といったテーマ毎に紹介します。油彩画や版画に表現された様々な恐怖をお楽しみください。

関連イベント

■ミュージアム・ボランティアによる解説会

会期中の毎週日曜日 11:00～（約15分）

レクチャールームにて（定員100名）聴講無料

観覧料

一般 1,400(1,200)円、大学生 1,000(800)円、70歳以上 700(600)円、高校生以下無料

*（ ）内は前売料金（一般・大学生のみ）および20名以上の団体割引料金

*障がいのある方(70歳以上を除く)は各当日料金の半額、その介護の方1名は無料



ポールドラロシュ《レディジェーン・グレイの処刑》1833年 油彩・カンヴァス ロンドン・ナショナルギャラリー蔵 ©The National Gallery, London. Bequeathed by the Second Lord Cheylesmore, 1902